和歌山県教育センター学びの丘　広報誌

まなぶだより

令和８年度　第４号



令和８年度初任者研修教職基礎研修⑥B（令和８年９月１７日実施）運営スタッフの様子

CONTENTS

１　深い部分に着目する　～二つの氷山モデルから～
２　日々の考えや思い、ここで言葉にしてみませんか？　～学びの丘の「学びセッション」～
３　見上げてごらん夜の星を　～天体観望会「The Night Sky」～



学びの丘イメージキャラクター
まなぶ

1　深い部分に着目する　～二つの氷山モデルから～

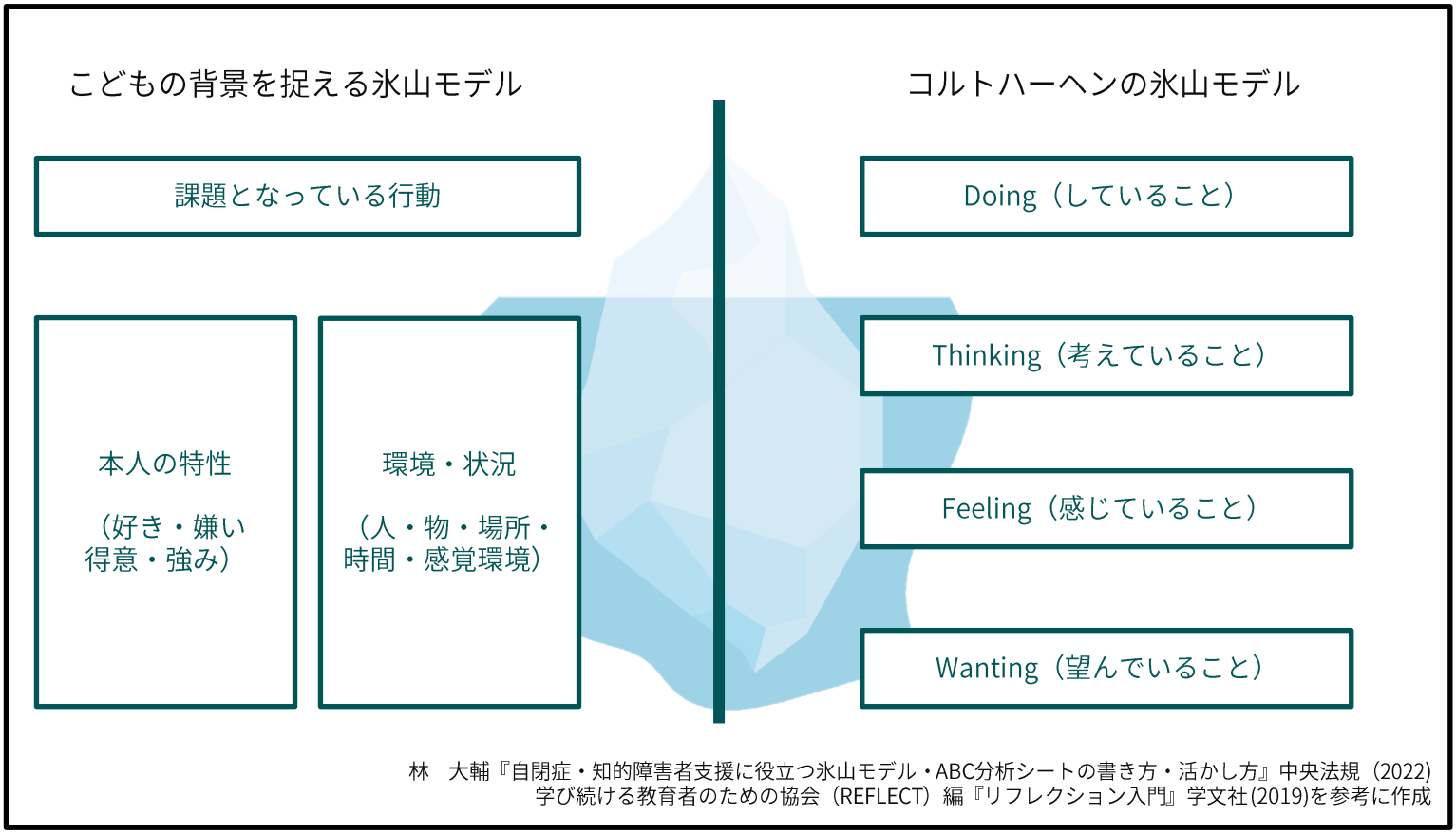
特別支援教育で大切にしたいことの一つに「こどもの実態把握」があります。そのためには、授業中の姿、課題への向き合い方といった、目に見える行動の観察をするだけではなく、その背景について考えることも欠かせません。

こどもの実態を把握する考え方の一つに、目に見えている行動を氷山の上に、その背景にある理由を水面下に例える「氷山モデル」があります。このモデルではこどもをより深く理解し実態を捉えるため、見えない背景の想像を大切にしています。

例えば、こどもが課題に取り組もうとしないとき、それは、特性により見通しがもてなかったのかもしれない、周囲の光や音が強過ぎた等の環境が要因なのかもしれない、支援者に「分かりません」を上手く伝えられなかったのかもしれない等、様々な背景が考えられます。

もう一つ大切にしたいことは、こどもの実態を把握しようとする教職員自身の眼差しです。オランダの教育学者コルトハーヘンも氷山モデルを用いて、人間の「行為」の背景にある「考えていること」や「望んでいること」等に着目しています。こどもの背景を想像するとき、「私はなぜ、この行動について考えたのだろう」「私はなぜ、この行動が気になったのだろう」「私はこどもに、どんな姿を望んでいるのだろう」と自分自身に意識を向けることもできます。

こどもの実態把握や理解だけではなく、教職員の学びにおいても、深い部分に着目することを大切にしたいものです。



林　大輔『自閉症・知的障害者支援に役立つ氷山モデル・ABC分析シートの書き方・活かし方』中央法規（2022）
学び続ける教育者のための協会（REFLECT）編『リフレクション入門』学文社(2019)を参考に作成

2　日々の考えや思い、ここで言葉にしてみませんか？

～学びの丘の「学びセッション」～

学びセッションとは、オンラインバズセッションにより、県内の教職員同士がつながり、学び合い、支え合う「語りの場」です。放課後の時間帯に気軽に参加していただくことができます。自身の実践や思いを語り、互いの実践から学び、「明日からちょっとやってみよう」と前向きになれる空気感が自然に生まれる場を目指しています。

前期に参加いただいた教職員の声を一部紹介します。

勇気を出して話したことに
共感してもらい
とてもうれしかったです。



今日、話し合った内容を
職場の先生とも共有したくなりました。

学びセッションでの皆さんの語りが、誰かのヒントになり、背中を押すことにつながるかもしれません。私たちはそんな時間の創出を目指しています。

後期の学びセッションについては、次のとおり実施します。

11月10日（火）	集まれ！複式学級の先生！　～複式教育から学びを得る～
12月15日（火）	２学期の教室環境を語ろう　～小さな工夫が集まる場～
1月19日（火）	幼児教育と小学校教育のスムーズな接続とは？　～学びの芽を育む～
2月25日（木）	ミドルリーダー育成研修のその後　～学校の「これから」を語る～

後期の実施に向けて、担当課でアイデアを出し合いました。参加しやすい時間設定や広報の工夫、語りたくなるようなテーマ設定等、皆さんの温かい対話が生まれるために思いを巡らせました。私たちスタッフも、お互いの考えや思いを語り合い、耳を傾けながら、本事業を企画・運営しています。



マンダラート発想法で
アイデアを出しています。



ペイオフマトリクスで
アイデアを整理しています。

参加希望の場合は、各校に届いている実施要項をご確認いただき、管理職に相談の上、申し込んでください。皆さんと語り合えることを楽しみにしています。

3　見上げてごらん夜の星を　～天体観望会「The Night Sky」～

私たちの頭上には、いつも広大な宇宙が広がっています。けれど、普段の生活の中でゆっくりと夜空を見上げる機会は意外と少ないものです。少し場所を変えたり、望遠鏡を覗いたりすると、これまで気付かなかった星々の輝きや夜空の奥深さに出会えるかもしれません。

例年、ご好評をいただいている天体観望会「**The Night Sky（ナイトスカイ）**」の季節が近づいてきました。



実施日：令和８年１２月１１日（金）
時　間：１９：２０～２０：３０（１９：００受付開始）
場　所：教育センター学びの丘プラネタリウム及び屋上公園
内　容：前半は、プラネタリウムで今夜の星空解説を行います。
　　後半は、屋上公園に移動し天体望遠鏡等を使いながら観望を行います。
　　観望対象は、星座や土星を予定しています。
定　員：３０名程度【先着順】
（雨天・曇天の場合は、プラネタリウム鑑賞のみ実施。荒天時は中止。）

１１月２４日（火）から参加申込みの受付を開始する予定です。
※電話又は教育センター学びの丘窓口にて受付



詳細については、学びの丘ウェブページをご確認ください。
※学びの丘ウェブページにあるこのボタンをクリック

